

別表5 経営分析表

区分	分析項目	算式	平成26年度	備考
構成比率(%)	固定資産構成比率	$\text{固定資産} / \text{総資産} \times 100$	93.08	資産合計中の固定資産の割合を示すもので、一般にこの比率は低い方が柔軟な経営が可能となる。
	固定負債構成比率	$(\text{固定負債} + \text{借入資本金}) / \text{負債資本合計} \times 100$	60.26	総資本に対する固定負債と借入資本金の割合を示すもので、事業体の他人資本依存度を示す指標であるため、自己資本構成比率とは逆の傾向を示す。
	自己資本構成比率	$(\text{自己資本金} + \text{剰余金}) / \text{負債資本合計} \times 100$	21.29	総資本に占める自己資本の割合であり、比率が高いほど経営の安全性は高いものといえる。
財務比率(%)	固定資産対長期資本比率	$\text{固定資産} / (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}) \times 100$	114.13	資金が長期的に拘束される固定資産が、どの程度返済期限のない自己資本や長期に活用可能な長期資本及び長期借入金によって調達されているかを示すもので、この比率は常に100%以下で、かつ、低いことが望ましい。
	固定比率	$\text{固定資産} / (\text{自己資本金} + \text{剰余金}) \times 100$	437.14	自己資本のうち固定資産の占める割合で、100%以下であれば固定資産への投資が自己資本の枠内におさまっていることになり、100%を超えていれば借入金で設備投資を行っていることになる。